「生命のがん教育」を実施しました

（令和３年度３学期分）

令和３年度３学期は１１校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

（１）医療従事者によるがんについての講義（20 分）

（２）がん経験者のお話（20 分）

◆授業風景

（八幡市立男山東中学校）

（京都府立農芸高等学校）

◎中学校（７校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
1/24（月）	八幡市立男山東中学校	1	京都府健康対策課　医務主幹　春里　暁人
2/4（金）	南丹市立美山中学校	2	京都中部総合医療センター　副院長　山岡　延樹
2/8（火）	京都市立西京高等学校附属中学校	1	京都市立病院　呼吸器外科医長　田中　伸岳
2/24（木）	宇治田原町立維孝館中学校	2	京都山城総合医療センター　がん診療部長　小池　浩志
3/9　（水）	京都市立洛水中学校	3	京都府立医科大学　教育センター 特任教授　曽和　義広
3/10（木）	八幡市立男山第三中学校	3	京都府立医科大学大学院医学研究科　教授　武藤　倫弘
3/14（月）	井手町立泉ヶ丘中学校	1	京都第一赤十字病院　臨床腫瘍部長　内匠　千惠子

＜生徒の感想＞

✧　「がん」のイメージは怖いイメージだったけど、今日の話を聞いて「がん」と向き合うために広い心を持って大切な人を支えられるようになりたいです。

✧　「がん」にならないようにすることはできないけれど可能性を低くすることはできると分かったので周りの人と共にしていきたいです。もしなったとしても、寄りそうだけでなく声かけをして「がん」について知っていきたいです。

- ✧ 「がん」ていうのは、身近にあふれているものだからこそ、正しい情報をつかむ大切さが分かりました。自分の中で規則正しい生活をすることが、予防にもつながるとわかり実践しようと思いました。
- ✧ 自分も家に帰ったら、身近な大切な人にがん検診を受けて欲しいと言おうと思いました。２人に１人ががんになるということを知って、いつ自分がなってもいいように心構えをしておきたいと思いました。
- ✧ がんは自分達に無縁だと思ってずっと無関心だったけど、意外と身近にある病気だと知って改めて怖さを知りました。
- ✧ 「がん」に対して、知識があまりなかったこともあり、すごく怖いものというイメージがありましたが、「共生」というワードを聞いて、恐れるだけでなく、共生という考え方が大切なんだなと思いました。
- ✧ 「がん」ができるまでの流れや、予防、対処方法など自分が知らなかった事が知れてよかったです。飲酒・たばこなどは控えたいです。

◎高等学校（４校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
1/12（水）	京都府立農芸高等学校	2	京都府健康対策課　医務主幹　春里　暁人
1/26（水）	京都府立丹後緑風高等学校 久美浜学舎	1	京都府丹後保健所　所長　重見　博子
2/2（水）	京都府立須知高等学校	1	京都中部総合医療センター　副院長　山岡　延樹
2/10（木）	京都市立東山総合支援学校	1	京都医療センター　がん診療部長　大谷　哲之

＜生徒の感想＞

- ✧ 「がん」は危ないということしか知らなかったけど、今回の話を聞いてどのようにして「がん」になるのかというのを少しでも知れたし、これからならないように気をつけて生活したい。
- ✧ 「がん」というのはどういうものなのかが分かりました。自分ではあまり分からない「がん」ですが、検査によって発見できると聞いたので、自分も大人になったらしっかり検査など受けて、早く見つけたいと思いました。
- ✧ 「がん」は早期発見が大切だということが改めて分かりました。今は２人に１人が「がん」になる時代で自分がなってもおかしくないので、今のうちからたくさんの知識を身につけておこうと思いました。
- ✧ がんはやっぱり危険だなと思った。がんの検査の種類を生命のがん教育で知りました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766　電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp